

表 1

資格別・科目別試験問題数と試験時間

1. 総合・海上無線通信士、陸上無線技術士

資格 科目		第一級総合 無線通信士	第二級総合 無線通信士	第三級総合 無線通信士	第一級海上 無線通信士	第二級海上 無線通信士	第三級海上 無線通信士	第一級陸上 無線技術士	第二級陸上 無線技術士
工学の基礎		25問 2.30	25問 2.30	25問 2.30	25問 2.30	25問 2.30		25問 2.30	25問 2.30
工学				25問 2.30			15問 1.30		
工学A		25問 2.30	25問 2.30		25問 2.30	25問 2.30		25問 2.30	25問 2.30
工学B		25問 2.30	25問 2.30		25問 2.30	25問 2.30		25問 2.30	25問 2.30
法規		25問 2.30	25問 2.30	20問 1.30	20問 2.30	20問 2.30	20問 2.30	20問 2.00	20問 2.00
英語	会話	7問 30分以内	7問 30分以内		7問 30分以内	7問 30分以内	7問 30分以内		
	筆記	5問 1.30	5問 1.30	5問 1.30	5問 1.30	5問 1.30	5問 1.30		
地理		4問 注3 1.00	4問 注3 1.00						
電気通信術	電信	和文	送受信 75字 約5分	送受信 75字 約5分	送受信 70字 約3分				
		欧文	暗	送受信 80字 約5分	送受信 80字 約5分	送受信 80字 約3分			
	普		送受信 100字 約5分	送受信 100字 約5分	送受信 100字 約3分				
	電話	欧文	送受話 50字 約2分	送受話 50字 約2分		送受話 50字 約2分	送受話 50字 約2分	送受話 50字 約2分	
	印刷電信 ・欧文普		送信 50字 約5分			送信 50字 約5分	送信 50字 約5分	送信 50字 約5分	

注 1 学科欄の上段は試験問題を、また下段は試験時間を表す。

2 電気通信術欄の[暗]は欧文暗語、[普]は欧文普通語、[印刷電信]は直接印刷電信を表す。

3 地理の試験の問題の数は4とし、かつ、各問題は10の小設問で構成する。

2. 第四級海上・航空無線通信士、特殊無線技士、アマチュア無線技士

資格 科目	第四級海上 無線通信士	航空 無線通信士	第一級海上 特殊無線技士	第二級海上 特殊無線技士	第三級海上 特殊無線技士	レーダー級海上 特殊無線技士	航空特殊 無線技士	第一級陸上 特殊無線技士
工学	18問 2.00	14問 1.30	工、法 各12問 1.00 (30)	工、法 各12問 1.00 (30)	工学10問 法規20問 1.00 (40)	工、法 各12問 1.00	工、法 各12問 1.00 (30)	工学24問 法規12問 3.00 (2.30)
法規	20問 1.30	20問 1.30						
英語	会話	7問 30分以内	5問 30分以内					
	筆記	5問 1.30						
通信術	欧文	送受話 50字 約2分	送受話 50字 約2分				送受話 50字 約2分	

資格 科目	第二級陸上 特殊無線技士	第三級陸上 特殊無線技士	国内電信級陸上 特殊無線技士	第一級アマチュア 無線技士	第二級アマチュア 無線技士	第三級アマチュア 無線技士	第四級アマチュア 無線技士
工学	工学、法規 各12問 1.00	工学、法規 各12問 1.00		30問 2.30	25問 2.00	工学14問 法規16問 1.10	工学、法規 各12問 1.00
法規			12問 0.30	30問 2.30	30問 2.30		
通信術	和文		送受信 75字 約3分				

注 1 学科欄の上段は試験問題を、また下段は試験時間を表す。

2 一海特、二海特、三海特、航特の()内は、工学免除の場合の法規の試験時間、また一陸特の()内は、法規免除の場合の工学の試験時間である。

3. 目の見えない者の資格別・科目別試験問題数と試験時間

科目等 資格	無線工学		法 規		試験問題の形式 (試験の方法)
	問題数	試験時間	問題数	試験時間	
第三級陸上 特殊無線技士	10	45分	10	45分	記述式(口述)
第一級アマチュア 無線技士	5	2時間30分	6	2時間30分	記述式(点字)
第二級アマチュア 無線技士	10	2時間	6	2時間30分	記述式(点字)
第三級アマチュア 無線技士	10	45分	12	55分	記述式(口述)
第四級アマチュア 無線技士	10	45分	10	45分	記述式(口述)